

国鉄 ED70形電気機関車 形式図

1953年三菱製、日本で最初の本格的に量産された交流電気機関車

北陸線電化のため18輛製造された客貨両用機

試作機ED451を改良、強化化した口コで、外観的にも、前面を傾斜させた車体、真紅の塗装など、新しい傾向を打ち出した

屋上の碍子や高圧機器類など、直流機には見られなかった眺めである

ついであるが交流機の架線電圧は直流の1500Vに対してはるかに高く20000V(ただし新幹線は25000V)を採用

なおED70にはこのほかに試作機的な要素をもった ED7019があり、スタイルは同系だが全長が少し長い

